

| | |
|------------|--------------|
| 学校名 | 川口市立前川東小学校 |
| 所在地 | 川口市前上町10-1 |
| 電話 | 048-265-3310 |

1 本校の概要

平成30年度に開校50周年を迎えた本校は、何事にも一生懸命で素直な児童が多くみられ、外国籍の児童も多数在籍している。

読書活動では、川口市最初のビブリオバトル実践小学校として、教職員をはじめ、司書や30人もの図書ボランティアの協力のもと、読書活動を推し進めてきた。今年度はコロナ渦で読書活動も制限されてしまったが、子供たちがよりよい読書体験ができるよう工夫して学校図書館を開館している。

2 本校の実践

(1) 学校図書館の分散貸出

感染対策を行い、学年別での分散貸出を行った。低学年については、貸出カードをしおり型にし、対面での貸出を回避した。図書委員はこの状況を受け止め、仕事の責任感が芽生えた。

(2) 人気本の複数冊購入

除菌を行うために、人気本がなかなか棚に戻らない状況があったため、人気のある本については2～3冊用意し、いつでも本棚に人気の本があるようにした。その結果、高学年の貸出冊数が飛躍的に伸びた。

(3) 読みきかせボランティアによる読み聞かせ

6年生では「語り」、1～5年生については、絵に集中しなくても楽しめるようにはなしの内容が充実した本を選書した。低学年については、学校図書館司書が担任からの依頼を受けて積極的に読み聞かせを行った。

(4) 地域へのメッセージボード作成

毎年、地域探索でお世話になっている地域の店舗が閉店することを新聞で知り、学校図書館に来館した6年生でお礼ボードを作成した。店舗に飾ってもらうことができた。



(5) 図書委員のポップをポップコンテストに応募

(6) 54字作文作品募集

高学年の人気本である『54字の物語』を自分で作ってみる企画を行い、たくさんの募集があった。校内に張り紙をして、優秀作品を表彰した。



(7) SDGs コーナーを常設

学校図書館内にSDGsを常設し、ポップをつけて児童と思いを共有している。

(8) 学校図書館の本による自主学習の推進



3 成果と今後の課題

(1) 成果

本校の児童には、学校図書館は、本の貸出だけでなく、校内活動や地域とのご縁を大切にする場所だという気持ちが定着している。そのため、自発的にビブリオバトルをやりたいと申し出る積極性や、学校図書館司書からの働きかけに対して、すぐに答える順応性がある。校庭の使用制限があり、休み時間の使い方にも変化ができたおかげで、学校図書館の貸出冊数が前年度よりも大幅に伸びた。

(2) 課題

過去3年間連続で行ってきたビブリオバトルについて、児童からの要望があったが、グループ活動に制約があり、実施することができなかった。昨年度までにビブリオバトルを体験している児童たちは読書をアウトプットで行っていることが伝わってきた。今年度は、54字作文制作を代替えに行ったが、いかなる状況でも行えるビブリオバトルの形態を作っておきたい。

(3) おわりに

今年度、児童はあらゆる体験活動が制限される中でも、日々をよりよく前向きに過ごそうとしてきた。そんな児童に学校図書館ができることとして、学校図書館司書、図書ボランティア、教職員が連携し、心地よく本の世界に入っていける空間作りを心掛けた一年となった。このように、大人が一体となってよりよい読書活動を支えていこうとする姿勢を、今後ももち続けていけるよう努めていく。